

目次

SORACOM Harvest ADC demo	1
【ファームウェアダウンロード】	1
【構成】	1
【動作モード】	1
【動作モード切替方法】	2
【データ送信方法】	3
【定期送信】	3
☐SORACOM Lagoon☐	4

SORACOM Harvest ADC demo

シャットダウン状態から定期的(通常：1日□DI on□10分)に起動し、AD 変換結果を [SORACOM 回線](#) を経由して [SORACOM Harvest](#) へアップロードするファームウェアです。

[SORACOM Harvest](#) でアップロード後、[SORACOM Lagoon](#) で可視化を行います。また、[SORACOM Lagoon](#) のアラーム設定により、閾値を超えた場合、メール□SNS等に発信します。

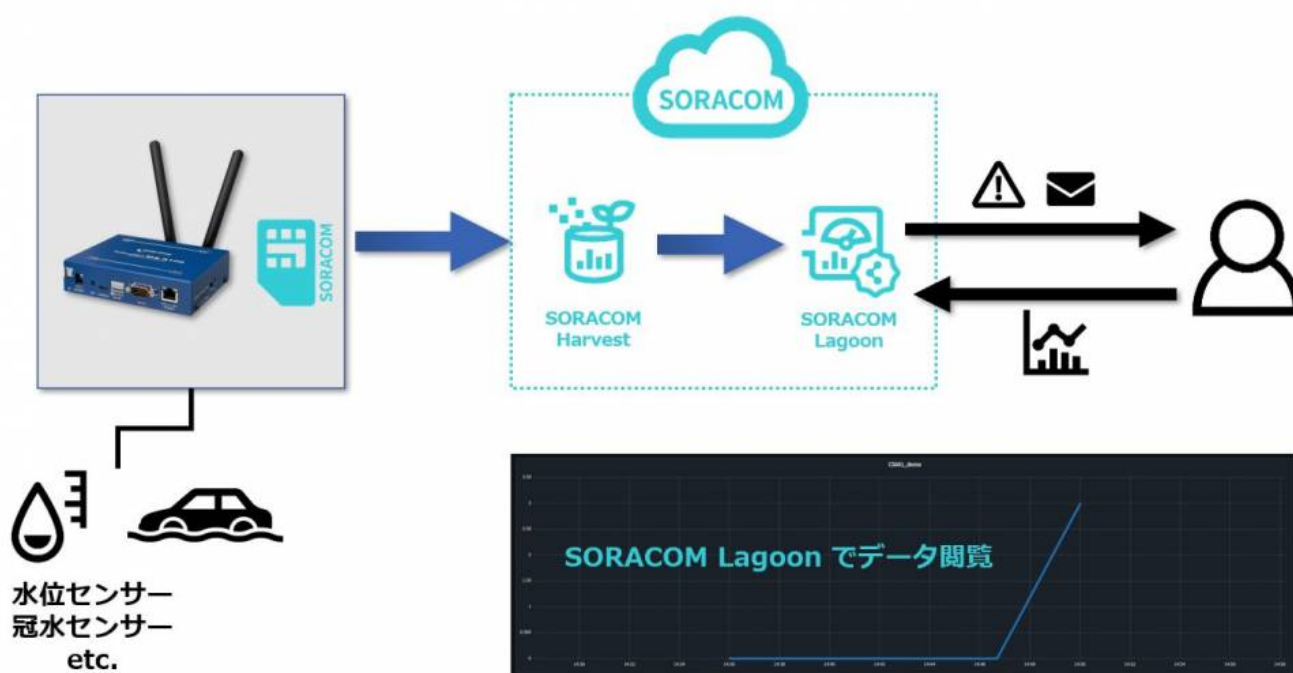
【ファームウェアダウンロード】

[こちら](#)からファームウェアをダウンロードしてください。

□SORACOM Harvest ADC demo firmware□に記載されているファームウェア□HarvestDemo_v*_*_*.img□が今回のファームウェアです。

ファームウェアの更新方法は[こちら](#)を参照してください。

【構成】



【動作モード】

DIPスイッチで動作モードを切り替えます。

稼働モード（Alpine Linuxで動作）

- データ送信を行います。
- データ送信以外はスリープし、省電力化を図ります。

メンテナンスモード（Ubuntu Linuxで動作）

- データ送信は行いません。
- 機器設定やログの確認が可能です。

【動作モード切替方法】

メンテナンスモード 稼働モード

- 1.DIPスイッチの“3”を“ON”にしてください(DIPスイッチを下げてください)。
下記写真を参照願います。



- 2.機器の再起動を行います。

稼働モード メンテナンスモード

- 1.DIPスイッチの“3”を“OFF”にしてください(DIPスイッチを上げてください)。
下記写真を参照願います。



- 2.OPTスイッチを押下してください。
下記写真を参照願います。



【データ送信方法】

稼働モード時、下記起動方法でMA-Sを起動させてデータ送信を行います。

1. 定期送信（定期的に起動してデータ送信）
2. SMS受信（強制的にスリープ状態から起動させてデータ送信）
3. OPTスイッチ（強制的にスリープ状態から起動させてデータ送信）

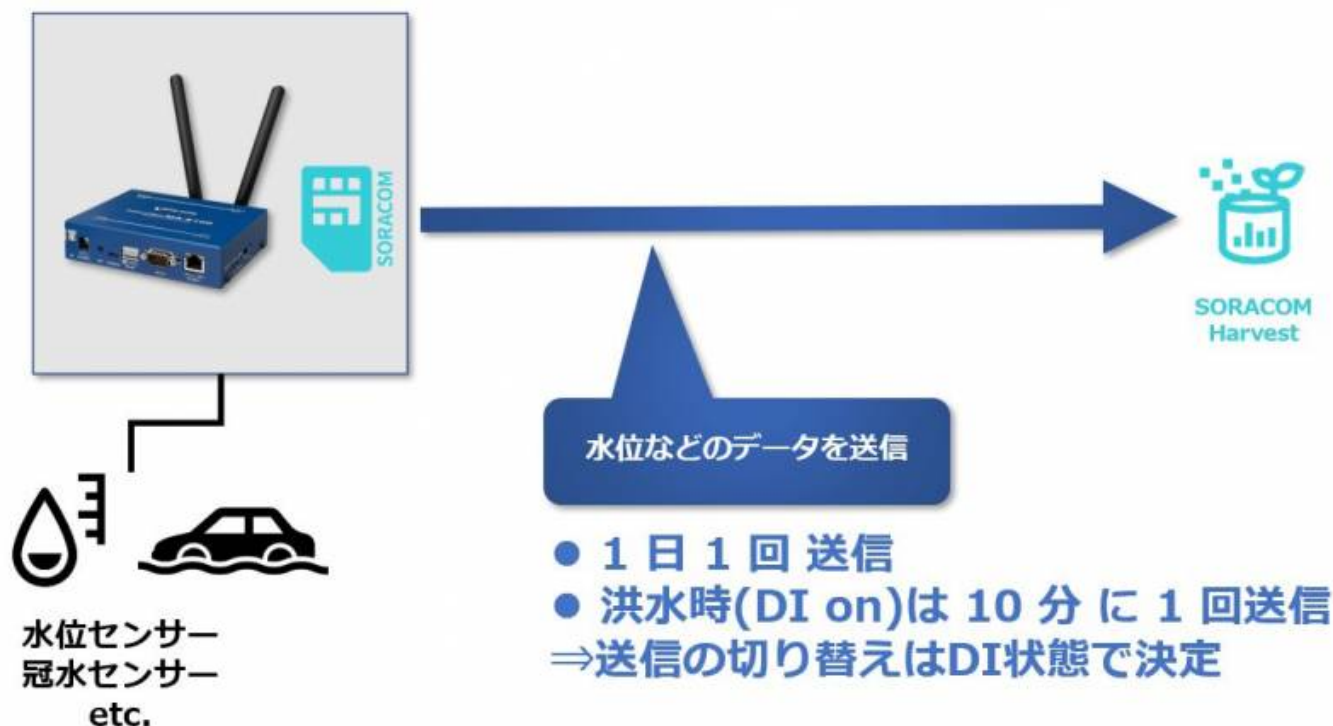


【定期送信】

送信間隔により [SORACOM Harvest](#) にADC値を送信します。
送信間隔は下記の通りです。

- 通常：1日1回
- 洪水時(DI on時)：10分に1回

□→DI状態を取得して、送信間隔を決定

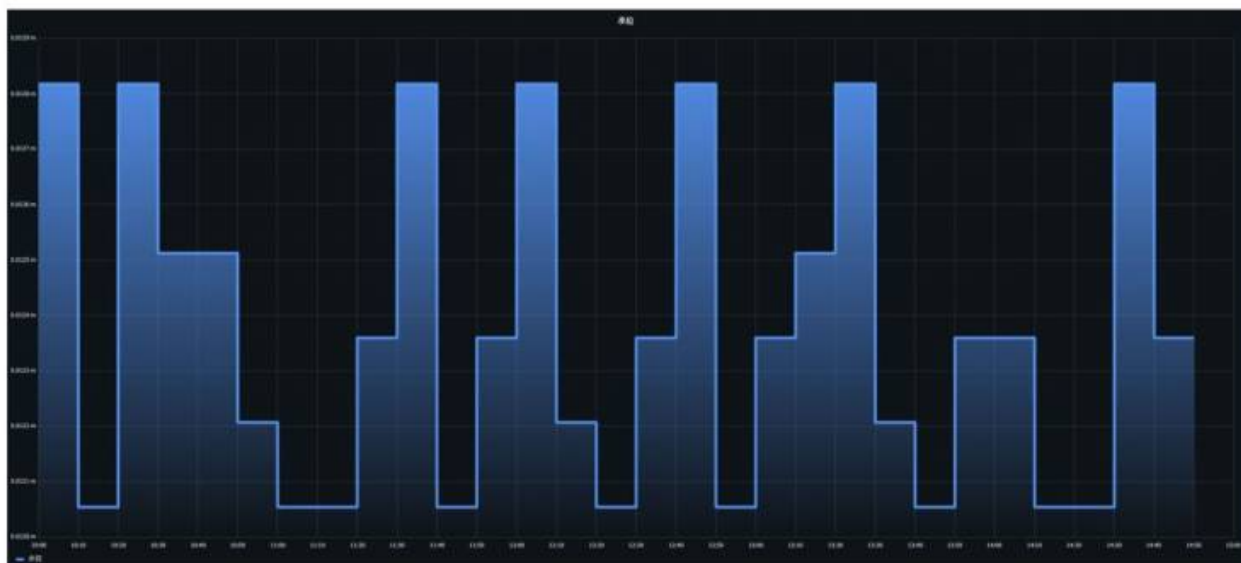


□SORACOM Lagoon□

SORACOM Harvest に届いたADC値をSORACOM Lagoon で計算を行い、水位に変換します。水位に閾値を設定することにより、メールやLINE等のSNSでアラートとして発信することが可能です。



SORACOM Lagoon



From:

<https://ma-tech.centurysys.jp/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi**

Permanent link:

https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mas1xx_tips:soracom_harvest_demo_firm:start

Last update: **2022/06/30 11:58**